

# 令和元年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目(化学) 准教授 池田 宏

取組状況	
教育	<p>1、公開授業週間において化学Iの研修授業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期に化学Iの研修授業を行い、今後の講義を組み立て直す材料を見つけることができた。最後に化学特論ではPDCAの仕掛けを施し、来年度の課題研究への足掛かりとすることができた。</li> </ul> <p>2、ALの一環として化学Iの講義に予習演習checkと「質問ボード」を導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学IではALを行うため「予習演習check」を年9回と「質問ボード」を実施し授業内のリビジットを実施した。その結果、学生が能動学習する習慣の定着化を図ることができた。</li> </ul> <p>3、機械システム工学コース4年生1名のゼミナール指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミナール指導では、機械システム工学コース4年生1名を指導し、来年度の卒業研究に繋がる実験結果を集約することができた。</li> </ul>
研究	<p>1、国際会議(査読付)で発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>Hiroshi Ikeda</u>, Shinji Toyota, Theoretical Evaluation of Molecular Strain in Unsymmetrical Anthracene-Acetylene Cyclic Dimers, 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18), P272, pp.364 (2019).</li> </ul> <p>2、国内学会で発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平井 聖児, 堀内 勉, 香村 誠, 青木 繁, <u>池田 宏</u>, 栗田 勝実, 加圧溶解法で発生したマイクロバブルの基礎特性とその応用, 砥粒加工学会学術講演会 2019, E04, C000041, 2019年8月</li> <li>・<u>池田 宏</u>, 古川 浩洋, 長森 清, 一般科目における「課題研究」の取組みー首都東京におけるアクティブ・ラーニングを用いた「課題研究」の実践研究ー, 第67回年次大会・工学教育研究講演会, 2A01, 2019年9月</li> <li>・<u>池田 宏</u>, 長森 清, 古川 浩洋, 首都東京におけるアクティブ・ラーニングを用いた課題研究:化学系の実践, 日本化学会第100春季年会2020, 2I2-29, 2020年3月</li> </ul>
社会貢献	<p>1、出前受入授業「化学発光について学ぼう」</p> <p>2、出前受入授業「温泉の化学について学ぼう」</p> <p>3、出前受入授業「身近な色素を用いた太陽電池の製作」</p> <p>4、社会活動: 令和元年度 専体協競技専門部地区委員(ソフトテニス)</p> <p>5、東京工業大学理学院 特別研究員(平成31年4月1日～令和2年3月31日)</p>